



高橋正光・山崎新太郎
2020-2021年度R.I.会長



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2840
TAKASAKI SYMPHONY ROTARY CLUB
Symphony Weekly



No. 9

会長/President 高橋正光

幹事/Secretary 齋藤達雄

**クラブ会報委員長/
Committee Man of Weekly Report** 大久保伊津美

第1週 2020年10月2日(金)

例会 毎週金曜日
点鐘 12時30分

例会場 ホワイトイン高崎

事務所/Office

高崎市本町144-1 光明第7ビル202号室

T E L 027-328-3371

F A X 027-328-3372

<http://www.takasakisymphony-rc.org>

E-mail:sym@po.wind.ne.jp

事務局員/Office worker 浅見洋子

本日のプログラム 会長の日 高橋正光会長
「百年前、高崎出身のロータリアン 深井英五」

ロータリーソング 君が代、奉仕の理想

第1096回例会報告

第3週 9月18日(金) 会場: ホワイトイン高崎

会員卓話 山崎新太郎君

「自己紹介・事業紹介」



御来訪者/Visitor 1名

(株)アペックス 取締役社長

(株)アルトスター 代表取締役 ビューエル 芳子様

出席報告

会員数	49名
出席計算人数	46名
本日出席者	36名
本日出席率	78.26%
先々週出席率	86.67%

幹事報告/Secretary Report

- ・神戸東灘RC週報
- ・Rotary Club of Wahiawa-Waiialua週報
- ・第7回日台親善会議福岡大会開催中止のご報告
- ・ハイライトよねやまVol.246
- ・例会変更
- ・ミニサッカー大会中止について
- ・日本ユネスコ協会「2019年度活動レポート」
- ・「手足の不自由な子どもたちを守り育む運動」への協力について

委員会報告/Committee Report

ニコニコBOX/Donator Niconico Box

- 高橋 正光君 (ビューエル芳子さんをお迎えして)
- 小野垣義男君 (")
- 西園 勲君 (")
- 池田 貴明君 (")
- 三村 浩司君 (")
- 柴崎 晟君 (2回欠席しました。ごめんなさい)
- 堀口 芳明君 (パトロールご苦労様でした)
- 井汲 憲治君 (すごしやすくなりました)

ロータリー財団BOX/Donator Rotary Foundation

- 高橋 正光君 柴崎 晟君 宮口 昌利君



折田 慶太君 山口 俊彦君 三浦 敦朗君
船渡川信幸君

米山奨学会BOX / Donator Yoneyama Scholarship

吉本 賢二君 宮口 昌利君 西園 勲君

井汲会員より

「市民公開講座」のご案内

次回例会予定

10月9日(金) 12:30点鐘

通常例会 於ホワイトイン高崎

プログラム：ゲスト卓話

児童養護施設 フランシスコの町
施設長 武井 望 様

百年前、 高崎出身のロータリアン 深井英五

1920(大正9)年東京RCが創立会員24名で発足します。そこに日本銀行理事深井英五の名があります。彼は1971(明治4)年12月に旧高崎藩士深井景忠の五男として、当時は武家屋敷の柳川町で生まれました。

英五は幼少期、西群馬教会(現：高崎教会)で英語を習い、教会の推薦で奨学金により新島襄の同志社英学校普通科に進みます。卒業後は同窓の先輩、徳富蘇峰が主宰する国見新聞社に入社しました。

新聞社時代、日清戦争従軍記者となり、その英語力を買われ一時大本营囑託も務め、帰国後外報部長となります。1896(明治29)年より蘇峰の欧州外遊に同行し、文豪トルストイや欧州の知識人等に知遇を得ます。その後、国民新聞社の業務見直しを受け退職します。

1900(明治33)年、蘇峰からの紹介で松方正義大蔵大臣の秘書官となるも、3ヶ月後に大臣辞任、松方の推薦で翌年日本銀行に入行しました。1904(明治37)年、日銀副総裁・高橋是清と渡欧します。

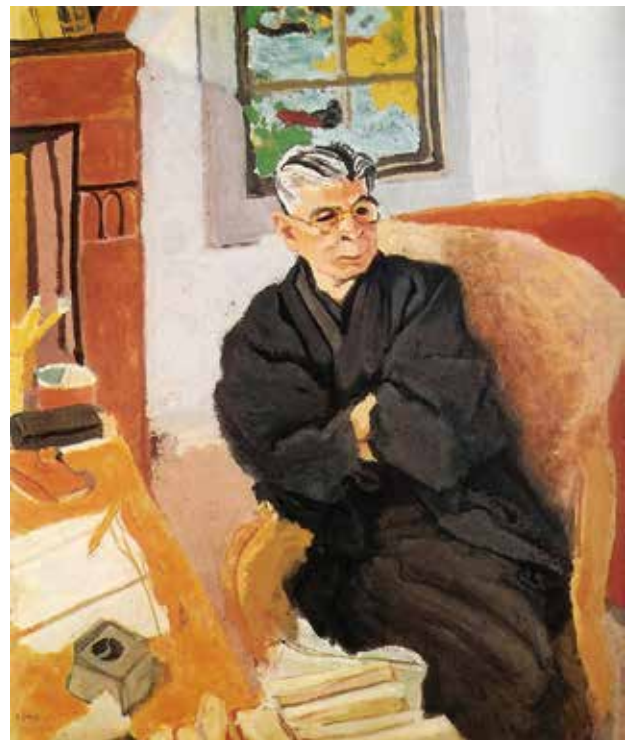
これは来る日露戦争の外債募集の為の出張でした。ここで蘇峰との外遊で培った人脈が活かされま

す。裏方で日本の分岐点を支えたのです。1918(大正7)年には日本銀行の理事に昇任します。この後東京RCの創立会員となります。

関東大震災の翌年1924(大正13)年、深井は東京RC会長に推されます。この年度で、震災孤児院ロータリーホームが開館しています。翌年度東京RCを離れたようです。1928(昭和3)年には日本銀行の副総裁となります。

井上準之助蔵相や高橋是清蔵相を支え1935(昭和10)年日本銀行総裁に就任します。翌年2.26事件で高橋蔵相が亡くなり、1937(昭和12)年に総裁辞任しました。貴族院議員、枢密院顧問官を経て1945(昭和20)年敗戦を見届け永眠。

総裁任期中、2度の帰郷がありました。高崎経済界挙げて集まった「岡源別館」での挨拶の中で「私はここで生まれた」と明かしています。2度目の帰郷は高崎の若手経営者の招請に応じたもので、それが若き日の吉野五郎PG(第355地区1964-65)であったそうです。(文責：金子秀隆)



安井 曾太郎「深井英五氏像」
東京国立博物館所蔵